

1 日 時 令和元年6月18日（火）19:22～21:00

2 場 所 東淀川区役所 3階 304会議室

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 健康・福祉部会委員）

友實 英之議長、岡本 由美副議長、角田 夕起子委員、建部 公美委員、
田原 眞里委員、西田 真弓委員、和久 範枝委員

（東淀川区区政会議 他部会委員）

村富 和広委員

（大阪市会議員）

長岡 ゆりこ議員、石川 博紀議員

（大阪府議会議員）

笹川 理議員

（東淀川区役所）

奥野子育て企画担当課長兼教育委員会事務局総務部東淀川区教育担当課長、
真田保健福祉課子育て企画担当課長代理、宇野保健福祉課教育担当課長代理兼教育委員会事
務局総務部教育政策課東淀川区教育担当課長代理、今井保健福祉課地域福祉相談課長代理、
養父保健副主幹兼保健福祉課担当係長、金田保健副主幹、福山保健福祉課担当係長 他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）平成30年度東淀川区運営方針 自己評価

（2）今後の取組みの方向性について

（3）その他

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○奥野課長 資料2をごらんください。

資料2の1ページ目です。これはA3の二つ折りになっておりますけれども、一番表のページです。1ページです。真ん中のあたりにありますように、5つの視点から評価を実施し、その自己評価の達成状況についての一覧表となっております。ちょうど真ん中あたり、網掛けになっております。そこに吹き出しで5つの項目についてご説明をさせていただいております。こ

の項目で評価をさせていただきました。

めくっていただきまして、経営課題1から順次1、2、3、4というふうに番号を打たせていただいていますけれども、左の下、経営課題2の部分をごらんください。

そこが当部会の関係する事項となっております。達成状況、有効性であるとか、戦略の進捗状況、アウトカムの達成状況、戦略のアウトカムに対する有効性という5つの視点についてご説明をさせていただきます。

先ほど申し上げた資料1の4ページ、5ページと対比しながらごらんいただければ、さらにわかりやすいかなと思います。

経営課題2-1、これがちょうど資料1の4ページの部分に該当いたします。2-1、こどもと大人がお互いに元気になれるまちということで、さらに細かく具体的取組ということで2-1-1、あらゆる世代が子育てにかかわっていくための切れ目ない施策の推進ということで、具体的取組等の評価について書かせていただいています。

2-1-1ですけれども、具体的取組で、達成状況をごらんいただきますと、②の(i)というふうになっております。これは何かと言え、すみません、1ページ戻っていただきまして、資料2の一番上、評価区分の凡例というふうに書かれておりますけれども、その番号の意味するところがそこに書かれているということで、②の(i)となれば達成状況の一番上段の左側、具体的取組の目標達成状況、ここが②となっていますので、目標は未達成です。そして(i)ですから、取組は予定どおり実施したと。取り組んだんですけれども、目標は達成できませんでした、というふうになっております。

資料1の4ページの右上、振り返り結果のところでは達成されているものと未達成のものそれぞれ書かせていただいておりますけれども、未達成の部分があったということで、そういう評価にさせていただきます。

戻りまして、具体的取組の有効性というところをごらんいただければ「×」となっているんですけれども、凡例を見ますと、有効でないため見直しをしますという評価をさせていただきます。また、真ん中のページの戦略2-1-2というところを今度ごらんいただきまして、地域の誰もが自由に集まれる居場所づくりを支援しますと。これも具体的取組の達成状況といたしましては、②の(i)ということで目標は未達成です。ただし、(i)は取組は予定どおり実施をいたしました。先ほど6地域をめざしますということですが、結局5地域の達成になりましたので、未達成であったと。それと、有効性につきましては「○」というふうにさせていただきます。「○」というのは有効であったというふうに判断をさせていただきます。その右の戦略の進捗状況というところが「b」となっております。「b」というのは順調でないというふうに、表の凡例を見ますと戦略の進捗状況、ちょうど下段の右端、そこに「b」というふうに書かれております。順調ではなかったと。

次の評価といたしまして、アウトカムの達成状況は「A」で、アウトカム、順調でありました。これはアウトカムということで、先ほど申し上げましたどのような状況をめざすんですか、大きな意味でのめざすべき大きな方向性、これについては順調で、めざすべき方向、大きな方向性は間違っはなかつたですよということです。順調という言い方をさせていただきました。

最後、右端、戦略の有効性とありますが、ここは「ア」と書かせていただいています。凡例を見ますと、戦略の有効性、「ア、有効であり継続して推進」をしていきたいと。総体的な取組としては、今後も引き続き同様の方向性をめざしていきますよというふうにこの戦略2-1におきましては、そういうふうに判断をさせていただきました。

続きまして、戦略2-2です。その下の段をごらんください。

全てのこどもが「生きる力」を身につける「子育て」「共育」のまちということで、これは資料1で言ったら5ページのところに該当いたします。先ほどと同じように、2-2-1、生きる力を身につけるのに重要な自尊感情の向上につきましては、①のiという取組達成状況の評価をさせていただきました。①のiですから目標は達成いたしました。(i)ですから、取組は予定どおり実施いたしました。

その下、2-2-2、子育て世帯を含む地域住民の交流促進、これも目標は達成して、取組は予定どおり実施いたしました。

その下、2-2-3、分権型教育の推進、これも①の(i)ということで、目標どおりの達成、目標を達成して予定どおり実施いたしましたというところで、右の評価へ移りまして、戦略の進捗状況としては「a」ということで順調でした。アウトカムの達成状況、これも「A」ということで順調でした。戦略の有効性は有効であり、今後も継続して取組を行うということの「ア」というふうに表現をさせていただきました。

資料2、もう一つご説明がございます。

1ページ目の真ん中から下のところをごらんください。

東淀川区運営方針の総括といたしまして、自己評価と課題と改善を記載させていただきます。

自己評価のところ、うちの当部会に関係するところは2段落目になっております。こども・青少年の健全育成については、特に自尊感情の向上や分権型教育の推進の取組について目標値を大きく上回る結果となったと。絵本図書館の開館等の取組により、親子のつながり、読み聞かせ習慣の定着につながっているという自己評価を書かせていただいています。

その下、課題と改善方向につきましても、2段落目をごらんください。こどもと地域を結ぶ居場所づくり、学習支援事業により、こどもの居場所の取組は広がりつつあるが、さらに区民への認知が高まるためにハンドブックや動画等を活用し、周知に努めてまいりますということ

で、改善方法を書かせていただいております。

以上で、資料2のご説明をさせていただきました。

次、議題の2でございます。

今後の取組みの方向性についてご議論いただく前に、参考資料として、資料3と4についてご説明をさせていただきます。

資料3、4をごらんください。

資料3は、昨年度1年間の区政会議を通じて区政会議委員の皆様からいただいた意見への対応方針の一覧表となっております。昨年度もその都度、区政会議の場を通じてフィードバックをしてきたところでございますが、その総まとめとなっております。

教育・子育て部会では、4ページから6ページのところが当部会の表記のところとなっております。

4ページ、5ページをごらんください。

4ページから6ページです。4、5、6ですね。2ページとプラス6ページの上段のところ

です。一昨年通じてたくさんご議論いただき、まことにありがとうございました。それぞれの意見に区役所からの対応方針を記載させていただいておりますので、この後のワークショップの際の参考資料としていただきますよう、よろしく願いをいたします。

以上が資料3で、資料4をごらんください。

運営方針のアウトカムや業績目標の指標につきまして、区役所独自で区民アンケートを実施しております。その調査結果報告ということでさせていただきます。

まず、1ページ目をごらんください。

そこに、どういった方を対象にアンケート調査をしたのかということでご説明させていただきます。

1ページ目の上の括弧囲みです。調査概要と書いているところをごらんください。期間としましては、平成30年12月26日から平成31年1月15日まで、対象といたしまして、無作為に抽出した東淀川区民の方、外国籍を含みます。調査方法としましては、郵送で発送して回収をいたしました。対象者数1,500人、回答いただいた方383人、回答率は25.5%というふうになっております。

どういったアンケートですかということで、1ページめくっていただきますと、質問の一覧表というのがございます。

21項目の質問でございます。それぞれ部会、健康・福祉部会、防災・減災、住みやすさ、地域活動、教育・子育て、情報発信等について調査をいたしました。具体的な回答につきましては、次の3ページ以降に記載をしておりますので、ワークショップのときにご参考いただければ

ばというふうに思います。

例えば問い15とか、15、16、17あたり、そこが当部会に関係するような質問項目となっております。東淀川区では子育てを長い目で考えたさまざまな施策が地域の多様な団体と行政により実施され、子育て環境が整備されていると感じますかというのが問い15でありまして、その下、問い16なんかでしたら、区内の各地域にこどもの居場所がつくられ、地域でこどもと大人の交流が進んだり、こどもが生活習慣や学習習慣を身につけ、元気になったりしていると感じますかとか、問い17、子育て・教育環境が地域において整っていると感じますかというふうな内容が当部会に関係する質問項目でございます。

1 ページ目に戻ってください。すみません、何度もあちこち行って申しわけございません。

1 ページ目の2つ目の括弧囲みで調査結果の概要というふうに書かれております。

この部分につきまして、先ほど質問項目、当部会に関係するところを読み上げましたけれども、それに対する回答がどれぐらいのパーセンテージなのか、どれぐらいの割合なのかというのが書かれております。

下から5つ目のチョコボをごらんください。子育てを長期的な視点で捉え、さまざまな施策が整備されていると感じていない人が6割弱を占めると。6割弱がいないと感じておられると。その下、こどもの居場所の関係です。こどもと大人の交流が進んだり、こどもが生活習慣、学習習慣を身につけ、元気になったりしていると感じる人は25.6%、約4分の1でありました。しかし、小学校の子育て世代である30から39歳の方は36.7%というふうに、世代によって感じ方に差があるということが言えていると思います。

その下のチョコボ、全てのこどもが生きる力を主体的に身につけられる子育て、教育環境が地域において整っていると感じている人は、2割程度にとどまっているというふうな回答率をいただいております。

全体的にいいますと、調査結果の概要、一番上のチョコボをごらんいただければ、回答者の割合は女性が55.1%、女性がやや多く、年代別では70代、60代、40代という順番になっております。その下、現在の住所にお住まいになっている方の年数は、10年以上が73.9%、全体の7割以上を占めているというふうな数字が出ております。

この後、ワークショップでご議論いただくための表として、送付資料6、東淀川区区政会議委員評価シート（部会別）をごらんください。

教育・子育て部会で取り扱う経営課題2について、それぞれ平成30年度区政の取組の評価をしていただき、その評価した理由と今後の方向性等についてご記載いただき、ご議論いただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。雑駁な説明になって申しわけございません。

以上でございます。

○友實議長 ありがとうございます。

では、ただいまご説明いただきました議題1、平成30年度東淀川区運営方針自己評価と議題の2、今後の取組の方向性の参考資料を踏まえまして、皆様からご意見を賜りたいと存じますが、内容についてより活発にご議論いただくために、今回は一旦部会を休会しまして、2班に分かれてワークショップによる意見交換をしていただきたいと思います。

話し合っていたきたいテーマは2つです。平成30年度自己評価に基づいた課題についてと今後の取組の方向性となります。

ワークショップ用のシートを使って進めてまいります。ワークショップのご意見ややりとりをまとめていただきまして、区政会議再開後、各班より発表していただきます。各班には区役所職員の方にも入っていただく予定でございます。

ここで区政会議教育・子育て部会は一旦休会とさせていただきます。

(休 会)

○友實議長 それでは、これより区政会議のほうを再開させていただきたいと思っております。

その前に区役所のほうからご報告がございますので、よろしく願いいたします。

○福山係長 本日、19時22分の時点で6名の教育・子育て部会委員に出席いただきまして、現在、もう一名ふえているんですけれども、19時22分の時点で出席者数が委員定数12名の半数以上となっておりますので、この会議は有効に成立しているということをご報告いたします。

以上です。

○友實議長 ありがとうございます。

そうしましたら、各班で出された意見について発表者の方からまとめて発表していただきたいと思っております。

会議録のことがございますので、まずお名前を名乗っていただいた上でご発言いただきますよう、よろしく願いいたします。

では、まず、向かって右側のほうの班のほうから発表のほうをお願いしてよろしいでしょうか。

○西田委員 発表します。西田真弓です。

経営課題2-1-1についてまず話し合いました。登校・登園サポートができなかったということで評価としてはちょっと「4. 思う」は厳しいじゃないかということだったんですけれども、やっぱり登校・登園サポートはとても難しい問題で、私たちだけで解決できるような問題ではないので、専門家のアドバイスを受けて、子ども同士で声をかけ合ったりするだけでなく、学校や区役所もみんな連携して解決していくために、今後も施策として何とか継続してサポートできるような方法を検討していくことを続けていきたいという結果になりました。

た。

子育てサロンや助産師さんへの相談を利用した人の満足度はとても高いので、今後もぜひ継続して行っていきたいと思います。助産師さんの相談を利用された方で、自信が持てるようになったと答えた方が66.7%だったんですけれども、アンケートのとり方を工夫して数字が上がるように、ぜひとも今後も継続していけるような事業であるという意見も出ていました。ただ相談していない人が本当は問題なのではないかということで、相談につながっていない人たちをどう支えていくのかということも課題として検討していく必要があると思います。

次、2-1-2、居場所づくりについてですが、居場所づくりは広がってきているんですけれども、情報が届いていなくてどうやって利用していいのかわからないということもあるので、SNSの活用や町会、地活協で情報を共有していくようにするのがいいのではないかと。また、居場所の継続支援が大切だということで、つくってそれを継続していけるような方法を検討していくということと、こういうところでやっていますというだけでなく、地域でどうそれをどうやって運営していくのかというようなことを話し合っていくことも大切ではないかという意見が出ています。

次は、2-2ですけれども、自尊感情向上のための取組がよい結果につながってきていて、読み聞かせ事業もいろんなところでつながってきているので、ぜひこのまま継続していきたいという意見でした。

あとは、青少年のこどもの健全育成に、取組みに参加したいと答えている人が半数ぐらいいるんですけれども、残りの半分の方は参加したいと答えていないので、そこが参加したいになるような取組みをしていかないといけないということと、あと地域で子どもたちとの交流はできているので、それがアンケートでも交流ができているとなることや子どもたちの生活習慣、例えば学力・体力が向上しているという結果がでるように、何が課題なのかということ、現実を直視して、みんなで子どもたちの課題を解決していけるように地域で取り組んでいけることをしていければいいかなという意見がたくさん出ていました。

以上です。

○友實議長 貴重なご意見をたくさんいただきまして、ありがとうございます。

続きまして、こちらの班のほうで発表をお願いいたします。

○田原委員 東淡路・柴島の田原です。よろしくお願いいたします。

最初に、取組の2-1-1、あらゆる世代が子育てにかかわっていくための切れ目のない施策の推進というところですが、評価は3人とも「やや思う」という評価になりました。その中で、登校・登園サポートについては、やはり本当にとっても大切な施策です。内容を本当に専門家の方とかにもしっかりとアドバイスをいただきながら、また学校とか、地域とかも一緒に取り組んでいかないといけない施策だと思いますので、しっかり見直しをしていただいて続けて

いただきたいという意見になりました。

1-2の乳児・家庭の訪問員というところなんですけれども、こちらは本当に実際来ていただいたご家族のお話だとか、地域でもたくさんいい施策だと聞きます。初めての子育てをするお母さんたちが安心して子育てができるきっかけをつくっていただいていますので、これは本当にぜひともこのまま長く続けていただきたい。基本の中に切れ目のないというのがあるんですけれども、最初のきっかけがすごくできているんですけれども、次につながっている感が少し足りない、実際、ああなるほど、ここでこうつながって、こうつながって育っていったというところの施策がちょっと弱いかなというふうに感じています。

なので、これを専門家庭訪問が1歳まで延長というふうになっているんですが、二、三歳ぐらいまでは何らか電話でとか、気になるご家庭には多分お電話とかはしていただいているかと思うんですけれども、少しでも延長できるようなことになればいいなというのも思っています。実際に子育てサロンだとかいろんなことを案内はしてもらうんですけれども、若いお母さんが入りにくいというようなことも実際に声が出ているそうです。行ってしまえば多分輪の中に入れるんだと思うんですけれども、何度かプッシュというか、そういうお話をしていただいて、私もこの日来ているからよかったらいらっしゃいませんかとか、そういうようなお声かけがあったら、また一人でも子育てに不安がっていらっしゃる方が行くことができるんじゃないかなと思います。

あと、一時預かりのところなんですけれども、先ほどお話があったように同じなんです、広報をしていただけるといふうに、周知を図るといふうに書いていただいているんですが、広報の仕方、ここでいついつやっていますよとかいうのはわかると思うんですけれども、行かれた方がどんなことで利用しましたよとか、行って見たらどういふ感じでしたよとかというように具体的にわかると、これも参加しやすいんじゃないかなという意見がありました。でもこの数字が少ないということは、逆に預かってもらえるところがふえたのかなというふうにも感じています。

あと、居場所のところなんです、こちらはお話の中で、本当に細く長く続けていけないといけない施策なんですけれども、実際のところはやっぱりお金がなくてなかなか続けられないというところもあると聞いています。地域活動協議会とかとうまく連携できているところは割と安定しているみたいなんです、そうじゃないところにどういふふうなアドバイスをしていただけるのか。また、されている方が楽しんでいふうか、気持ちよくできるのかというところにちょっと課題があるのかなというお話が出ました。

続いて、全てのこどもが生きる力を身につける「子育て」「共育」のまちというところで、自尊感情ということについては、この内容については皆さん、「思う」、「やや思う」ということで、やっていただいている施策についてはこのままぜひ続けていただきたいなど。特に問

題があるとはみんな思っていないんですが、青少年指導員の方々もよくされているんですけども、スポーツが好きな方もいれば、文化的なことが好きな子もいる、そういう中でいろんな場面を地域の中でもどんどんつくって行って、たくさんの子どもたちと大人が接してそれを褒めてあげたりだとか、自信が持てるような地域にもなっていないといけないと思いますので、地域のほうでもしっかりやっていないといけないなというお話になりました。

あと、全体的に地域との連携をされていることがすごくいいことなんですが、こういう活動がありますよとか知らせるアピールが少ないのではないかという意見もありました。

あと、子育て世代を含む地域住民の交流促進のところは、時間がなくて余りお話し合いはできなかつたんですけども、この施策で場所が学校というところも多くて、そこに地域の方が入り込んでいろんな活動をしていて、そこに子どもたちがいるので、実際に子どもたちの交流もすごく図れていて、この活動についてはこのまま進めていただきたいなと思っています。

あと分権型教育の推進については、余りこちらもお話し合う時間はなかつたんですが、しっかり学校のことについて話し合うことや外部からの目が入るということは大切なことなので、これもそのまま続けて行っていただきたいなということで、「思う」という意見になりました。

以上です。

○友實議長 発表、お疲れさまでございました。ありがとうございました。

たくさん貴重なご意見が出たかというふうに思います。今、2班の発表者からご意見を出していただきまして、また、その意見について模造紙に附箋が張られている状況でございます。これを見ながら、これから7月の本会で議長報告する案件としまして、意見をさらに集約していきたいというふうに考えております。重要な意見と思われるものと、その理由や意見の追加のご意見について、ご意見のほうを賜ればと思いますのでお願いいたします。

今、お聞きしていた中では、特に登校・登園サポートの見直し、継続といったところと、あと居場所の新規開設及び継続といったお話と、あと、こんにちは赤ちゃん訪問事業ですか、そちらのほうの対象児年齢を広げる、そういったご意見等がございました。

どうしましょう、こういった数々のご意見の中で発表するものをまとめていきたいのと、あと深めていければなというふうに思うんですけども、何かご意見ございますでしょうか。

では、指名しますので、いいですか。ご意見ございませんので、なかなかご自分から発表となるとちょっと抵抗があるかと思っておりますので、せっかく来ていただいています村富委員さん。お願いしてもよろしいでしょうか。

○村富委員 小松地域の村富です。

私からは、どれというよりは、両班の共通だったところを、意見が両方で出ているのでまとめの中に入れていただいたらありがたいなと。例を言うなら、2-1-1の登校・登園サポート、2-1-2の居場所づくりの継続支援のところは特に共通していたんじゃないかと。あと

2-2についても、自尊感情のところはやはり皆さん心配になっているところはあると思いますので、そういったところが両班から出た共通のテーマではないかと思いました。

以上です。

○友實議長 ありがとうございます。

ほかにご意見等々はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

すみません。もしよかったら和久委員、何かございましたら。

○和久委員 すみません、東淡路・柴島の和久です。

私も一つつけ加えるとしたら、さっきそちらからありましたように、こんにちは赤ちゃん訪問というか、ゼロ歳児というのを切れ目がさっき言われたように、切れ目ないと言いながら切れているかなと思うところが感じることがあるので、年齢の幅を拡充していただく、大変なことだとは思いますが、また切れ目の間にちょこちょこ施策を入れてもらえたら切れ目なくいくのかなというのがありましたので、それをもしよかったら入れていただきたいなと思います。

○友實議長 ありがとうございます。

本当にたくさん貴重なご意見をいただいて大変うれしく思います。発表する意見が限られてきておりますので、先ほど聞かせていただきました意見の中で特にご意見が多かった部分、多かった取組みにつきましては、登校・登園サポートの見直しと、あと継続の方法と、あと居場所の新規開設、継続、運営といったような議題について特にご意見が多かったように思いますが、こちらの2点ぐらいで本会のほうでの発表・報告というふうにさせていただくという形はいかがでしょうか。もしまた何かほかにこれは、これだけは報告していただきたいというふうなご意見がありましたら、おっしゃっていただければと思うんですけれども、いかがでしょうか。大丈夫ですか。

ありがとうございます。

では、先ほどお話しさせていただきました2点の議題について、ご報告、発表というふうな形をさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

そうしましたら、各班からご意見がございましたが、区役所のほうからご意見、補足、反映など、対応方針などについてご説明のほどよろしくお願いたします。

○奥野課長 どうも長時間にわたりまして、貴重なご意見ありがとうございました。

私の予想どおりというか、その2点が残りました。やはりこの資料1の4ページ、5ページをごらんいただきますと、やはり未達成のところはどうしても皆様方疑問に思うところやと私も思います。そのところが登校・登園の問題と居場所の問題というところが未達成になっておりますので、本日いただきましたご意見、登校・登園につきましては、これまでからも議題の俎上に上がっております。いろいろその都度ご説明もさせていただきながら、当初の見込み

が非常に甘かったというところはもちろんございましたし、ボランティアさんに3、4年後に登校・登園のサポートをしていただくためのボランティアさんを養成していくというところなんですけれども、やはりボランティアさんにそこまでお願いできるのかなと、非常に根が深い、単に登校をサポートするというだけの表面的な問題ではなくて、その家庭にずっと入り込んでいって非常に深いところまで対応しなければ子どもを送り出していただけないんじゃないかというふうなことが1年間やってきた中でいよいよわかったというような、見込みが甘かったかなというのは反省しております。ただ、ですからそれをボランティアさんにもなかなか難しいやろうというところもわかった次第でございまして、それにかわるものとして、今回、とりあえず直営でさせていただきますということで提案させていただいてはいますけれども、実際にやっておるんですけれども、さらにまた皆様方にもご意見いただきながらいい方法を工夫してやっていきたいなというふうに思っておりますので、今後ともご理解、ご協力をお願いいたしたいというふうに思います。

居場所の内容につきましても、本日いただいたご意見を踏まえまして、よりよい方策を考えていきたいと思っておりますので、きょうはどうもありがとうございます。貴重なご意見どうもありがとうございます。

○友實議長 ありがとうございます。

そうしましたら、本日ご出席の議員の皆様よりご助言などございましたらお願いできますでしょうか。

○長岡議員 きょう初めて参加させていただきました長岡です。本当に私も東淀川で子育てしてきましたけれども、本当に赤ちゃんを産んですぐに家に来ていただいたサポートから、ずっと行政にもお世話になりながら来たなというのを思い出して参加させていただきました。

きょう、ワークショップのこちらのほうでも言っていたんだけど、大阪北部地震から1年で見守り隊の方が本当に亡くなられて、1日、地域の方たちが見守ってくれているから子どもたちは安全に登校もできていたなということもすごく思いをはせた1日だったので、きょうの最後に、地域の方たちの連携とか、大人を励まそうなんていう意見が出たワークショップだったので、本当に大人も子どもも元気になる、そういう取組みをますます発展したらいいなということで、胸熱く聞かせていただきました。本当に行政も頑張ってもらっているなというふうに思いますけれども、今、声が出たボランティアの方、地域の方だけではいけない、行政のしっかりしたシステムのところをしっかりとっていくことも大事だなというふうに勉強もさせていただきました。

本当にありがとうございます。

○石川議員 石川でございます。きょう初めて参加させていただきました。まだまだ勉強不足のところもありまして、きょう初めて聞く言葉が多かったところで、またこれから学んでいき

たいところでもあるんですけれども、地域の皆様方に非常にお支えをいただいているいろいろなことが行われているというところに本当に感謝申し上げるとともに、また、きょう大きなテーマでありました赤ちゃん訪問ですか、非常にそういう制度があることを知らないまま過ごしている方が出ないように、地域の皆様とともに、また行政のほうもしっかりとかかわって行って、1人にさせないということをしっかりと進めていただけたらなと感じた次第でございます。

またこれからもどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○笹川議員 府議会の笹川です。きょうもありがとうございます。

先日の千里山交番の件では、本当に皆様にさまざまところでご心配やご対応いただいたこと、本当にありがとうございます。

この事件、本当に子どもをどうやって守るんだということで本気で考える一日になってしまいました。先ほどありましたように、見守り活動をしていただいている皆さんの本当にこういった日々のお力というのを、あのときにもし捕まっていなかったら、どうやってこの方々に守っていただくのかといったことは、保護者の立場からすると非常に考えさせるものになりました。

昨今、この子どもが巻き添えになる、または巻き添えになるかもしれない事案の犯人は、ひきこもりぎみや居場所がないということでこういう事件を起こしてしまうような報道もなされています。そういった意味では、この居場所づくりというのは物すごく大切になってきます。この居場所づくりに、先ほど資金の問題がありましたけれども、もちろん東淀川区役所や大阪市も支援していますし、また、大阪府のほうでも支援をさせていただいていますし、今、民間のほうでもさまざまに支援がふえていますので、情報をしっかりとっていただくことができれば何とか回っていきけるんじゃないかなと思っていますので、そういったあたりも皆さんに情報キャッチをしていただければなと思っています。

自尊感情の向上も居場所づくりで変わってくる面はありますので、こういったあたりもご協力いただければと思います。健全育成に関しても、これから心の健全育成というところも主になってくるのかなと思っていますので、ぜひお願いいたします。

あともう一つ、学校協議会、これはぜひ皆さん傍聴に行ってください、「地域に開かれた」というんですけれども、各学校傍聴者が1名もしくはゼロ名です。なので、なかなか行っていることも少ないのかなと思いますが、PTAの皆さんを中心に行ってください、地域でしっかりと子どもたちを守る仕組みや子どもたちの自尊感情を高める仕組みも一緒になって活動をしていただければと思います。

最後に、前回、子ども輝く未来基金という子ども貧困の基金で、母子家庭の困窮の世帯に自転車の補助という話をしていました。来月ぐらいから申請が始まってこようかと思うんですけれども、それは予算の関係で小学校6年生の子どもを対象だけになってしまったんです。ただ

それを保護者の方が申請を返していただくという形になりましたので、これは保護者が郵送だったと思いますけれども、申請を届けなければこどもに届かないので、そういった情報もしっかりキャッチをもししていただいたら。そういう子が周りにいたら情報提供してあげていただければなと思いますので、よろしくお願いします。きょうはありがとうございました。

○友實議長 ありがとうございました。

今回の部会でいただきましたご意見を踏まえまして、区役所のほうで今年度の運営方針について検討いただけることを信じております。時間も迫ってまいりましたので、この辺で終わっていきたいと思います。

最後に、議題3、その他について区役所のほうからご説明のほうをよろしく願いいたします。

○畠山課長 総合企画担当課長の畠山でございます。

私のほうから区政会議のスケジュールです。各部会につきまして、あすには安全・安心部会、24日には魅力あるまちをつくろう！部会を開催いたしまして、区政会議の本会につきましては、7月23日、区役所3階区民ホールということでということで、議題についてはここに掲げているとおりでございます。

参考に、既に開催済みではございますが、各部会の学習会もここに掲載しておりますのでごらんいただきたいと思います。

私からは以上でございます。

○友實議長 ありがとうございました。

そうしましたら本日の本会での議事は以上でございます。皆様、本当にお疲れさまでございました。ありがとうございました。

ここからの進行は事務局のほうにお返しさせていただきます。

○福山係長 参加委員の皆様、ありがとうございました。

毎回ご案内しておりますが、委員の皆様につきましては、本日の会議での議論内容を各地域活動協議会や所属の団体等でご説明いただき、各地域等からの意見をまたこの区政会議にフィードバックしていただきますようよろしくお願いいたします。

なお、地域活動協議会の会長様には、先日同じ資料をお渡ししております。

では、これもちまして、令和元年度第1回区政会議教育・子育て部会を閉会いたします。